２０２２年１１月１日

海匝・山武 男女共同参画だより

第10回発行記念号

～ 地域でひろがる笑顔の輪 ～

「男女共同参画」とは、地域の一人一人がお互いを尊重し合い、笑顔で過ごせる社会を目指すもので、ごく身近にあるものです。「男女共同参画だより」は、それぞれの地域で男女共同参画に携わるお仕事・活動をしている方々や、県から委嘱を受けた地域推進員の活動を紹介しています。

多世代交流施設「おひさまテラス」　旭市（伊藤 浩子・小橋 静枝）

「子育てを通して、まちの人々がつながり、支えあい、共に育む場」をコンセプトに、今年４月に旭市にオープン。子どもの遊び場スペースや読書･仕事･趣味のフロア、レストラン等が配置されています。

２０名ほどがスタッフとして勤務し、市にお住まいのメンバーが多く協力し活動しておられます。世代別に見ても、まんべんなく利用されていて男女比率も半々と、バランスの取れた利用状況だそうです。

取材実施日は、十数名の方が思い思いに読書をしたり、リラックスしたりしている姿が見受けられました。ゆったりと過ごし、自然と空間の中に色々な世代が集まることができ、利用される方々にとって心地のよい場所である事を目指しているそうです。

「おひさまテラス」と永井統括マネージャー

また、統括マネージャーの永井氏からは、「今後も様々な活動を計画しているが、アイデアを駆使し未来へつながるようなプロジェクトを」と次々と創造を膨らませているそうで、「大人が輝いていると市全体に広がり将来も明るい。地域の皆さんの活動を支援していき、一つ一つ積み上げ形にしていくことで発展させていきたい」と、今後の抱負を熱く語ってくださいました。

一人ひとりの自立に向けて　横芝光町（伊藤 清美・石川 真由美）

ガラス張りのスタイリッシュな建物の中で、「社会福祉法人心結会 まんまる」の施設長として子ども達と生き生きと活躍している大木 多香子さんからお話を伺いました。

大木 多香子さん

子ども一人ひとりに合った支援方法を、親や専門職とともに探りながら、心身の発達を促しています。ある時は、素敵なピアノ伴奏に合わせた歌声が響き、またある時は、プールの中で元気にはしゃぐ子どもの声が響いています。そして、合間に元気な保育士さんの楽しそうな笑い声がします。

大木さんは、個性豊かな子ども達と明るい職員を温かい目で見守り続けています。「関わっている子ども達が、人から求められる存在になって、地域で自立できるようになってほしい。そのために、今後は働ける環境も整えてきたい」と、これからの抱負を語ってくださいました。

大木さんの笑顔と芯の強い眼差しから、近い将来、夢が現実になってくるのではないかと期待し、利他の精神で行動している大木さんは、キラキラと輝いている様に感じました。

子どもの笑顔が私の生きがい　　銚子市（岩瀬 賢氏・山本 政美・金尾 記子）

今年は、銚子市第三保育所を訪問し、市内の公立保育所で唯一の男性保育士である、柳澤 将太さんを取材しました。

柳澤 将太さん

柳澤さんは、学生時代に子どもに携わるボランティア活動に参加した際、子ども達と関わるのは楽しい、やりがいがあると感じ、保育士を目指しました。

ダンス（お遊戯）が得意な柳澤さんは、民間の男性保育士とコンビ「おさかなきゃべつ」を組み、地域のイベントでボランティアとして子ども達を楽しませています。コロナ禍のため最近出番がないのが残念です。

また、プライベートでは２児の父。自分の子どもの育児には腕を振るい、子どもと過ごす時間を大切にしています。

保育所では、主に３歳～５歳児クラスを担当し、保育士で良かったと思うことは、「子どもたちができなかったことができるようになったとき。自分もうれしいし、保護者もうれしい。先生や保育所のおかげだと感謝していただけることもうれしい」と話されました。

これから入ってくる男性保育士さんへ伝えたいことは、“笑顔で人に接すること”“自分自身も楽しむこと”と答える柳澤さんの優しい笑顔が印象的でした。

「通いの場」づくり～地域に笑顔と繋がりを～　　東金市（石川 安子・古川 煌子）

今回は、地域の「通いの場」づくりに取り組んでいる、錦見 康江さんにお話を伺いました。

この通いの場は、地域の女子会「梛の会」が中心となり、令和２年１１月にスタートしました。

錦見 康江さん：前列左から４番目

毎週水曜日に下武射田地区の公民館で、１時間ほど東金市ロコモ体操を実施しています。月２回は運動指導などの資格をお持ちの方が、残る２回は錦見さんがリーダーとして指導をされ、現在は毎回２０名程度の参加があるそうです。

体操はテンポよく進み、時にはジョークあり笑いあり。「１、２、３」と声かけも元気いっぱいでした。

「せっかく縁あってこの地域に来たのに、全然顔を合わせないというのではもったいない。何かみんなが一緒にできることはないかと思って」と話してくださった錦見さん。この通いの場は、健康を維持する場であるとともに、大切な交流の場となっています。参加者の方は「地域の女の人が元気になり、家庭が明るくなり、地域に笑顔の輪が広がることが一番です」と話されました。

この通いの場から、地域や社会が少しずつ変わっていくかもしれません。通いの場には、今日も元気いっぱいの笑顔の花が咲いていることでしょう。

千葉県男女共同参画地域推進員とは

男女共同参画社会づくりを進めていくためには、県民一人ひとりの意識を高めることが必要です。

そのため、千葉県では「千葉県男女共同参画地域推進員」を知事が委嘱し、地域推進員は県内６つの地域に分かれて活動しています。

地域推進員は、地域と市町村・県とのパイプ役となり、各地域の特性を踏まえて、講座・講演会の開催や広報誌などの事業を通じ、地域での男女共同参画の意識の普及・啓発をしています。

お年寄りが自由に集う場～おかえりぃ～　　九十九里町（松木 加津江・二葉 久枝）

認知症カフェ「おかえりぃ」は、九十九里町だけでなく、近隣市町のお年寄りが自由に集う憩いの場所です。自宅の別宅で運営するのは、平塚 三鈴さん 68 歳。

平塚 三鈴さん

平塚さんは、認知証サポーター、生活支援コーディネーターなど豊富な知識を生かし、お年寄りの生活をサポートしています。また、民生委員として地域のお年寄りの見守りや、地域包括支援センター事業の運営にも携わり活躍されています。

おばあちゃん子だったという平塚さんは、「お年寄りはみんな自分のじいちゃんばあちゃんのような感覚」とおっしゃいます。「おかえりぃ」の運営の中で一番うれしいのは、メンバーが休まず来てくれる事、食事を残さず食べてくれることだそうです。メンバーとはこまめに連絡を取り合い、多忙な平塚さんのご家庭はというと、ご主人は食事の用意、洗濯などはすべて自分でされるそうです。「お互い自立し、自由にやりたいことをやっているのが、家族の円満と元気の秘訣だ」と力強く語ってくれました。そんなバイタリティーあふれる平塚さんから元気をもらった取材でした。

ここちよい、こころよい、地域のための保健師を目指して　　山武市（諏訪富美江）

今回は、山武市役所の保健師として活躍されている男性職員の、堀川 騎央さんと福留 圭人さんの２名を取材しました。

堀川 騎央さんと福留 圭人さん

お２人とも、保健師になったきっかけは、病気になる前の段階に対応していくことで防ぐことができる保健師としての役割に魅力を感じたからとのことです。

まだまだ女性が就くことが多い職種ではありますが、お２人とも抵抗はなく周囲と協力して業務を進めることができているとのことです。

近年のコロナ禍で保健師の業務も増えつつもありますが、お２人とも、「人とのつながりやふれあいを大切に“誰もがその地域で楽しく元気に、その人らしく暮らしていけるように”ということをモットーに真摯に取り組んでいきます」と目を輝かせておりました。「ジェンダーレス社会」を実現するために、その第一歩として、お２人のさらなる活躍を期待したいと思います。

願いは皆の幸せ、それを築くため今も…　　大網白里市（今井 静子･塚田 みえ子）

「おはよう。元気にいってらっしゃい。」

小学校の校門の横断歩道で、今日も内山 明子先生の元気な声が響く。

人権教育に取り組む、内山 明子さん

内山先生は、教員としてたくさんの子ども達と豊かな時間を過ごし、後年は女性管理職としてご活躍されました。退職後の現在は、子ども達の通うデイケア施設に勤務される傍ら、交通安全推進隊をはじめ、人権擁護委員、学校運営協議会委員、行政相談員等々の活動にも従事されています。

「女性職員が安心して妊娠、出産、子育てができるように、いろいろな制度が設けられ、仕事と家庭の両立ができる職場環境の整備が進んでいる。先輩たちががんばって獲得してきた権利をこれからも大切に行使していってもらいたい。男性職員の育児休暇も当然の権利としてとれる社会になってほしい」と力強い。

今日も生き生きと、子ども達とともにある先生のご活躍を期待しています。

輝く笑顔に出会いたい　　匝瑳市 男女共同参画担当

今年で３０年目を迎えた、ボランティアサークル「おはなしやさん」。メンバーの子が通う小学校の家庭教育学級で保護者が演じた人形劇がきっかけとなり、有志でサークルを立ち上げました。保育園や福祉施設などで、人形劇や大型紙芝居の公演を行っています。

「おはなしやさん」のメンバーの皆さん

子ども達に語りかけるように、一人ひとりの心の声を大切にしながら演じることで、子ども達はお話の世界に引き込まれていきます。

子ども達の喜ぶ顔を見ると、メンバーの皆さんの演技にも力が入るそうです。

また、仕事や家事を両立しながらこれまで活動を続けてこられたのは、ご家族の温かい協力とメンバー同士のチームワークがあるからこそだとおっしゃっていました。そして、これからの目標を伺うと、「たくさんの人を笑顔にできるよう、いつまでもいきいきと細く長く活動していきたい」と語ってくれました。

新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、３年ぶりの公演に向け、練習にも熱が入っていました。

憩いの場所「ツクリテ」　　芝山町（石井 正恵）

シャッターが閉まる店舗が増える中、ソーイング教室を立ち上げて、洋裁を学ぶ場としてはもちろん、地元の皆さんの憩いの場としての役割も果たしている藤永 歌織さんを取材させていただきました。

Tukurite(ツクリテ)代表の藤永さんは都内の服飾専門学校・大学を卒業後、都内のデパート勤務のキャリアを生かし、いつかソーイング教室を開きたいと思っていたそうです。

子育てとの両立は、ご家族に協力してもらいながら藤永さん自身も寝る間を惜しんで努力されたそうです。その経験から、女性が起業するには行政の子育てサポートや、起業する人への助成金やサポート制度があると、ありがたいとおっしゃっていました。

現在はソーイング教室と手芸用品、雑貨の販売をされていますが、芝山町を盛り上げようと、町キャラクターの「しばっこくん」のグッズも積極的に販売されています。

藤永 歌織さん

これからの目標は、託児所付きのカフェやサロンのような子育て中のお母さん達が集まれる場所をつくることだそうです。明るくバイタリティー溢れる藤永さんのこれからの活躍が楽しみです。

～第１０回発行記念によせて～

男女共同参画だよりは、今号で第１０号目、記念すべき１０周年を迎えました。

今後も、一人ひとりが自分らしく輝ける海匝・山武地域を目指して、私達、男女共同参画地域推進員は活動していきたいと思います。

千葉県男女共同参画地域推進員(海匝・山武地域)
リーダー 石川 安子

＜発行＞
千葉県男女共同参画地域推進員(海匝･山武地域)
＜事務局＞
千葉県男女共同参画センター
〒260-0001　千葉市中央区都町 2-1-12
TEL：043-420-8411　FAX：043-420-8581
公式 Twitter：chibakensankaku